



# コンテ

## 2005.3

### われ未だ木鶏たりえず

私は、仕事柄多くの経営者にお会いします。血気盛んな方がいらっしやると思えば、物静かですが存在感のある方もいらっしやいます。

『酒の席で、安岡正篤は『莊子』達生篇にある木鶏の話をした。

昔、王のために闘鶏を養う名人がいた。ある日、王は名人に尋ねた。『どうだ、もう闘わせてもいけかな』

ところが名人はこう答えた。『いや、まだいけません。いまはちょうどから威張りして、自分の力を当て

にしています』  
しばらくして、王は名人に催促した。でも彼はうんといいません。『まだいけません。他の鶏の姿を見たり、鳴き声を聞くと興奮します』

しばらくして、王はまた催促した。名人はまだ許しません。『まだです。傲然と構えておって、血気が盛んでいけません』

その後、王が重ねて催促したとき、彼はやっと承知した。『まあ、よいでしょう。もう他の鶏の鳴き声を聞いても平気です。ちょっと見ると、まるで木で作った鶏としか見えません。徳が充実したのです。これでどんな鶏がやってきても、天下無敵です』

戦いというものはこうでなければいけない。徳が充実してくれば、戦わずして勝つ、つまり相手を吞んでしま

うことが起こる。』（「安岡正篤の世界」神渡良平著 同文館）

私自身「木鶏」のような経営者になりたいと精進していますが、もちろん足元にも及びません。特に「戦わずして勝つ」ことこそ、今の時代に必要なことだと感じています。

すぐに頭に血が上る自分、すぐに落ち込む自分を、泰然とした自分に作り上げていきたいと思えます。

【降旗 達生】

### お客様の声

株式会社ティーエスクリエイト

管理部 部長 尾田 保久様



## 定期的で活性化されたミーティングが組織と意識を変えた！

### ISO取得の背景

当社にて「ISO14001」を意識しはじめたのは2年前でした。最初は営業部から産業廃棄物を扱っている以上、今後「営業的な看板」として必要と声がかかりました。社長からは「営業的な看板」なら高い買物が必要なしとの判断でしたが、それから同業者から情報を取ったり、研修に参加したりして「ISO」はどんなものなのか1年かけて調査勉強しました。私も最初は「営業的な看板」としか考えておりませんでした。内容を理解していくうちに、会社組織を活性化するための手段として考え始めました。当社の組織は組織図だけある「絵に画いた餅」状態でした。ここに「ISO」を取り入れることによって全員で同じテーマに向かっていけば必ず「組織の構築と活性化」ができると判断したのです。社長にもこのことを理解していただき昨年3月27日にキックオフとなり、「ISO14001」認証取得の向けスタートいたしました。

### 推進会議で苦労したこと

3月27日のキックオフから年内に認証取得する目標を立てました。実質8ヶ月の活動で、とにかく時間との戦いでした。各部リーダーを中心に環境マネジメン

トシステムの勉強から始めましたが、規格の要求事項を各部の業務に落とし込んでいくと考えれば考えるほどわからなくなっていく。どこまで考えればいいのか切りがない状態でした。推進会議の中で各部の進捗状況を確認するたびに軌道修正していく繰り返しでした。

### システム構築で一番アピールする項目

まず一つは「内部コミュニケーション」です。今まで会議を実施しても議事録さえ残っていない。口答だけの会議でしたが、現在は各部署で定期的にグループミーティングが実施され、環境教育・訓練実施記録として必ず提出されるようになりました。各部署のリーダーが中心となり部署内の問題点を全員で検討し情報の共有化がされてきました。

二つ目は「環境法規制等の遵守状況」です。産業廃棄物業を扱っている以上、法規制を守ることは当然のことです。しかし一つの問題として法規制についての情報公開が遅いと感じております。結果（不法投棄等）だけを追っている状況では……。当社では自分たちで法規制についての情報を取りに行く、インターネットや定期的な行政訪問を実施しています。これを「環境法規制等一覧表」に落とし込み全社員に伝え、

現場状況と法規制との相違点を確認しております。外部的には、法的罰則ばかり気にして、書類さえそろっていればよい、委託する処分場の現地確認もせず、義務であるマニフェストの交付もしない排出事業者にも法規制を遵守することの重要性を伝えております。

### 今後の展開の抱負

まずは「ISO14001:2004」への移行です。昨年12月に認証取得しましたが、まだまだ基礎の段階です。移行することにより更なる充実したシステムを全社員で構築していきます。

1年前は「ISO14001」を認証取得する目的が「営業的な看板」、「組織の構築と活性化」でしたが、いつの間にか変わってきました。今後の地球環境を守るために、当社だけでは大きなことは出来ませんが、当社でも出来ることをコツコツと計画し、実施し、是正し、見直していく、この繰り返しです。当社のテーマは未来の地球環境保全へむけて

『明るい、住みよい地球を子供たちに！』です。

技術士試験（一次・二次）受験申込みが始まります

技術士第一次試験受験申込み期間及び試験日	
受付期間	平成17年6月13日(月)~7月1日(金)
*インターネット受付	平成17年5月18日(水)~6月27日(月)
受験手数料	11,000円
試験実施日	平成17年10月10日(月・祭日)

技術士第二次試験受験申込み期間及び試験日	
受付期間	平成17年4月1日(金)~4月20日(水)
*インターネット受付	平成17年3月1日(火)~4月12日(火)
受験手数料	14,000円
試験実施日	平成17年8月6日(土)・総合技術監理部門必須科目 平成17年8月7日(日)・総合技術監理部門を除く技術部門 ・総合技術監理部門の選択科目

\* 平成17年度(今年度)からインターネットでの受験申込み受付が開始されます。郵送、持参の受付期間とは異なりますので、ご注意ください。

二次の試験実施日は、筆記試験の日にちのみ掲載しています。

一定の学歴又は一定の国家資格の保有者は試験が一部免除されるものがございます。ご確認ください。

受験申込書の請求、その他問合せは 社団法人日本技術士会HP <http://www.engineer.or.jp/> にて詳細をご確認ください。